

単元名	体つくりの運動遊び(多様な動きをつくる運動遊び)	配当時間	8時間
単元の目標	(1) 体のバランスをとったり、体を移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりすることができる。 (2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりしようとする。		

標準的な展開例

02100301_001

【準備等】短なわ、長なわ、輪、竹馬、CDプレーヤー、軽快な曲、学習カード など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 かけ足やなわ・輪・竹馬のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 ★かけ足やなわ・輪・竹馬を使った運動をしよう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○2分間の集団走をする。 ○2分間のグループ走をする。 ○輪を使って遊ぶ。 ・腰で回す、片手で回す、投げて捕る、転がすなど 2 かけ足をしたり、輪を使って遊んだりする。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ・リズムダンス、鬼遊びなど ○かけ足をする。 ・2分間の集団走、2分間のグループ走 ○輪を使って遊ぶ ・腰で回す、片手で回す、投げて捕る、転がすなど ・転がし競争、くぐり抜け競争など ○反省し、まとめをする。 ・楽しかったこと、がんばったことなど 3～5 かけ足をしたり、なわを使って遊んだりする。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ○かけ足をする。 ・3分間の集団走、2分間のペア走 ○短なわを使って遊ぶ。 ・前跳び、けんけん跳び、グーパー跳びなど ○長なわを使って遊ぶ。 ・大波・小波、くぐり抜け、一人で跳ぶ、集団で跳ぶ ○反省し、まとめをする。 ・楽しかったこと、できたことなど 6～8 かけ足をしたり、竹馬を使って遊んだりする。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ○かけ足をする。 ・3分間の個人走 ○竹馬を使って遊ぶ。 ・補助者付きで立つ、台や手すりを使って立つ ・1歩進む、歩数を増やして進む ○竹馬に乗って遊ぶ。 ・自由に乗って遊ぶ、台の高さを変えるなど ○反省し、まとめをする。 ・楽しかったこと、できたことなど ○第8時は、単元のまとめもする。	・1時間の前半はかけ足、後半はなわ・輪・竹馬を行うことを知らせる。 ・ゆっくりしたペースで走らせる。 ・グループを決め、リーダーの後ろを走るようにさせる。 ・鉄棒の間や木の間などいろいろな場所を走るようにさせる。 ・準備運動として、ダンスをしたり、鬼遊びをしたりする。 ・第1時と同じグループで行う。 ・リーダーを交替する。 ・いろいろな遊び方を工夫して楽しませる。 ・2～4人グループで競争して楽しませる。 ・ペアを決め、リーダーの後ろを走らせる。 ・リーダーを順に変えて行わせる。 ・自分に合った跳び方で回数に挑戦したり、新しい跳び方を覚えたりして楽しませる。 ・学習カードを使い、跳び方のコツや練習の仕方を示したり、目標をもたせたりする。 【評】工夫してなわとびをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・グループで協力して行わせる。 【評】協力してかけ足やなわとびを行う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・自分のペースでトラックを走らせる。 【評】3分間の個人走を通して、「知識・技能」を評価する。 ・体をやや前方に倒し、出しやすい方の足から出させる。 ・感想の発表や自己評価などをさせる。

【備 考】

低学年の児童は、続けて長く走った経験が少ないので、はじめは無理をさせずに、徐々に時間や距離を伸ばしていく。なわ、輪、竹馬などの用具を操作する運動遊びについては、低学年の児童にとってやや難しい面もあるが、興味をもって取り組める運動でもあるので、いろいろな技に挑戦させるようにする。なお、低学年の児童の体力、興味の持続を考慮して、1時間にかけ足と用具を操作する運動の2種目を行うようにした。

<運動遊びが苦手な児童への配慮の例>

- ・速さを助言したり、音楽に合わせるようにさせたり、友達とかけ声を合わせながら走らせたりする。
- ・なわを跳び越す位置や動き方を示したり、かけ声によってタイミングを合わせさせたりする。